



社会教育主事「K」&社会教育士「S」が行く



～KAPLA(カプラ)編～

みなさんこんにちは！社会教育主事「K」です！今回は、オアシス通信7月号に掲載した「KAPLA（カプラ）」について紹介します。

KAPLA はフランスで生まれ、「魔法の板」として世界中で愛されているブロックの玩具です。ただの木片のようにも見えますが、無限の可能性を秘めた、奥深い魅力を持っています。遊び方も自由自在で、「高く積んで競う」や「建物や乗り物など身近な物を作る」、「自分が考えたオリジナル作品を作る」など、楽しみ方は様々です。接着剤等は使わず、並べたり積んだりするだけで、自由に作品を作ることができます。その中で、「曲線を表現するにはどうしたらいいんだろう？」など、考えを張り巡らせながら作成するのが特徴です。そうした遊びを通して、空間をとらえる力や、筋道を立てて考える力も、自然と育まれていきます。また、作品が崩れる際に「カラカラ…」と心地よい音を奏でながら崩れるのも、魅力の1つです。

一度触れると、誰しもが「次はもっと高く」「次はもっと複雑に」という挑戦心を抱きます。手元にあるのは、たった一枚の木片です。しかし、そこから無限の物語が始まります。物語の終わりには、綺麗な音をたてて終了するのです。このシンプルで贅沢な体験こそが、KAPLA が長年愛され続けている最大の「面白さ」だと思います。KAPLA は社会教育課で貸し出していますのでお気軽にご相談ください！

K の作品 「KAPLA タワー」



S の作品 「貨客船 KAPLA 号」

